



南砺ユネスコ

協会設立 平成23年7月5日

発行 南砺ユネスコ協会
南砺市福光5260
発行人 片岸 博
編集人 岩井 透
発行日 令和4年12月25日

南砺ユネスコ協会は、富山、氷見に次いで県内で3番目に設立され、今年で11年目を迎えました。「南砺ユネスコ」第12号の発刊にあたり、市民の皆様にもユネスコの活動をご理解いただくため、今回も全戸配布させていただきます。

ユネスコとは

UNESCO(ユネスコ)は、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organizationの頭文字を集めた略称で、日本語では、国際連合教育科学文化機関といいます。

第二次世界大戦の反省にたち、二度と人類があやまちをおかさないようにとの願いから、昭和20年(1945年)11月に国際連合は、ユネスコ憲章を採択し翌年11月にユネスコを創設しました。

ユネスコは本部(事務所)をパリに置く政府間機関ですが、加盟各国内にはユネスコ国内委員会が設置されていることも特徴の一つです。現在、加盟国は193ヶ国。日本は昭和26年(1951年)7月、60番目の加盟国となり、翌年、「ユネスコ活動に関する法律」を制定しました。

南砺ユネスコ協会の目的や事業内容

「南砺ユネスコ協会会則」に基づいて活動を行っています。ユネスコ憲章の精神に基づいてユネスコ活動を実践し、広く国際社会の進歩と向上に貢献しうる人材の育成をはかり、もって世界の平和と人類の福祉に貢献し、あわせて地域社会に寄与することを目的としています。

- (1) ユネスコ事業を発展的に推進するための啓発と普及活動
- (2) 国際理解教育と国際協力活動
- (3) 文化・科学の発展と持続可能な地球環境を創造する活動
- (4) 青少年の育成をはかる活動
- (5) 世界遺産・未来遺産に関する活動
- (6) その他、本会の目的を達成するための活動

南砺ユネスコ協会の活動内容

世界平和への願いを込めて全国的に各ユネスコ協会が展開している「平和の鐘を鳴らそう」運動や小・中・高等学校、特別支援学校等の協力のもと、書きそんじハガキ回収を通じた「世界寺子屋運動」への参加、さらに世界遺産となっている合掌集落の茅場の下草刈等の活動を実施しています。

『世界で活躍した南砺の偉人』好評発売中!

南砺ユネスコ協会では、世界で活躍した南砺の偉人3人を紹介し、それぞれの活躍を日本語・英語併記で発刊しています。

日中国交回復に力を尽くした政治家	松村謙三	(福光出身)
日本の建築の美しさを世界に紹介した建築家	吉田鉄郎	(福野出身)
世界の食糧危機を救った農学博士	稲塚権次郎	(城端出身)

価格 1冊 500円(税込み)

ページ数 日本語 26ページ 英語 18ページ(両表紙)

販売元 南砺ユネスコ協会事務局(福光福祉会館内)



富山県ユネスコ活動研修会 in 南砺

県内の富山、氷見、南砺ユネスコ協会が集まって毎年交替で研修会を開催しています。

今年は11月13日(日)に南砺市で行われました。テーマを「文化遺産の継承」として、未来へ守り伝えてゆきたい文化について考える研修会になりました。

最初に、富山県ユネスコ弁論大会で入賞された、吉江中学3年生2名のスピーチ発表会、次に、南砺市観光協会専務理事 此尾 治和氏による「井波彫刻 日本遺産」と題して基調講演があり、五箇山民謡の実演会も五箇山 深山会の出演で行われました。

当日は、世界文化遺産保護の為の募金活動にご来場のみなさまにご協力いただき、17,638円の募金が集まり、全額南砺市へ寄付させていただきました。



(開会の挨拶)



(基調講演)



(実演会)

ユネスコ弁論大会



10月1日(土)第70回学生ユネスコ弁論大会が富山市の富山電気ビルで開かれ、南砺市から吉江中学3年生が2名出場し、上島 大堵君が「次世代へとつなげる地域文化」と題し、中学の部で2位に入賞、また杉本 愛羅さんが「平等」と題し、3位に入賞されました。富山県ユネスコ活動研修会で、二人のスピーチを発表していただきました。

世界寺子屋募金活動

南砺市友好交流協会主催で「なんと異文化交流フェスティバル 2022」が6月12日(日)に福光福祉会館にて開催され、戦争や貧困で教育を受けられない子供たちを手助けする、「ユネスコ世界寺子屋運動」の募金活動をおこないました。コロナ禍で大変な時期ですが、来場者からの温かい気持で20,197円の募金が集まり、当協会を通して、全額を日本ユネスコ協会へ寄付させていただきました。



第11回南砺ユネスコ「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施

「つなげよう平和の心」を合言葉に、今年度は、8月15日(月)福光地域の教念寺さんにご協力頂き、第11回「平和の鐘を鳴らそう」を実施しました。

会員を含め約30人が「恒久平和」そして「コロナ収束」の願いを込めて鐘を鳴らしました。



今年も「書きそんじハガキキャンペーン運動」に

ご協力をお願いします!!

書きそんじてしまったハガキはありませんか!? 今年も書きそんじハガキキャンペーンを新年1月16日(月)~31日(火)の期間に実施します。あて名を間違えてしまったり、逆さまに印刷をしてしまったハガキや使わないで余ってしまった年賀状や未使用切手、プリペイドカード、テレホンカードが募金対象になります。

1989年に開始した「ユネスコ世界寺子屋運動」は基本的人権として、年齢、宗教、性別にかかわらずすべての人が公平に教育の機会を得られるように、無償で学ぶ機会を応援する活動です。



前回の寄贈(福野小学校)

書きそんじハガキがこんなに役立つ!

世界には、学校に通えない子どもたち(6歳~14歳)が約1億2100万人、読み書きのできない15歳以上の数が約7億7300万人います。その7割がアジアに集中しています。

カンボジアでは書きそんじハガキ14枚、切手700円等で1人の子供が1か月学校に通え、書きそんじハガキ9,000枚で、机、イス、棚など寺子屋の備品が買えます。

書きそんじハガキ1枚で、ネパールでは鉛筆7本、ラオスではチョーク35本、アフガニスタンではノート2冊、カンボジアでは消しゴム2個が買えます。

※ 今まで日本ユネスコ協会連盟の運動で43か国1地域で535の寺子屋を建設し約134万人が学ぶ事ができました。

昨年日本ユネスコ全体での換金額は約5,464万円(南砺ユネスコ 約23万円)でした。

■回収箱

キャンペーン期間中(1/16~31)、市内の小中学校、義務教育学校、特別支援学校、各市民センター、公共施設等に設置します。

前回の書きそんじハガキ回収枚数は、**2,957枚**でした。

内訳 小学校 1,517枚 中学校 1,108枚

その他 332枚(高校、特別支援学校、公共・商業施設等)

事務局 林 加代
委員 齊藤 哲也
委員 笠野 千尋
委員 岩井 透
委員 辻本 努
広報委員名簿
(事務局 林)

編集後記
少しずつ正常な生活が戻ってきたと思ったり、またコロナの第八波。新年度こそ、活発な活動を繰り広げていきたいと願っているところだ。今後とも関係各位並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



世界平和のために
あなたの力を

会員



募集!!

■年会費

個人会費 3,000円

法人会費 10,000円

南砺ユネスコ協会事務局

〒939-1654

南砺市福光 5260

(福光福祉会館内)

Tel 0763-52-4548

Fax 0763-52-3023

E-mail:unesco@nanto-ykk.o